

平成 30 年度活動状況

- 平成 30 年度は、「広めようお金の知恵 ～ 生きる力、自立する力を高めるために」という活動テーマのもと、「学校における金融教育」、「社会人向けの金融教育」、「金融広報活動の効果的かつ効率的な運用」、の 3 つの重点施策について、以下のような活動を展開した。

(重点施策)

1. 学校における金融教育

(1) 金融・金銭教育研究校への支援

【神戸市立宮本小学校】

- 金融広報中央委員会（以下、中央委員会）主催の「先生のための金融教育セミナー」に当校担当教員 2 名が参加
- 当校において金融広報アドバイザーを講師とした教員研修会および授業を実施（9～10 月、計 3 回）
- 公開授業開催
 - 当校における金銭教育のテーマ「つたえる つながる ～ひと・もの・お金を大切に！～」に即した全学年の授業を公開。
 - 当校の取組みを中央委員会主催の「先生のための金融教育セミナー」（令和元年度夏開催）において、当校担当教員より実践事例として発表予定。
 - 公開授業の後には生活経済ジャーナリスト あんびるえつこ氏を講師に迎え、ワークショップを実施。

【姫路市立飾磨高等学校】

- 公開授業開催
 - 健康福祉コースの生徒が、「私の福祉マインド～私はこの仕事(分野)で、このように働きたい」とのテーマのもとで、健康福祉に関する様々な分野で仕事・ビジネスプランを探求し、その成果をポスターセッションにより発表する授業を公開。

- 当校の取組みを中央委員会主催の「先生のための金融教育セミナー」（令和元年度夏開催）において、当校担当教員より実践事例として発表予定。
- 公開授業の後には「ディズニーで学んだ最高のサービス」をテーマに、加賀屋克美氏による講演会を開催。

【兵庫県立神戸商業高等学校】

- 卒業後に社会人として必要となる金融教育の実施
 - ひとり立ちのために必要となる経済の基礎知識を身につけるための冊子「これであなたもひとり立ち」（中央委員会発行）等を配付。ライフプランニングや金融トラブル防止等について学習。

（2）金融・金銭教育研究校以外の学校への金融・金銭教育の普及

- ゲストティーチャーの派遣
 - 小学生向け金融教室を開催（18回、参加者計1,328名）。
 - 高等学校等4校（9回、参加者計1,649名）に、「これであなたもひとり立ち」（中央委員会発行）を活用した講義を実施。
 - 大学では2大学の学生（参加者計94名）に、ライフプランニングをテーマとして、「大学生のための人生とお金の知恵」（中央委員会発行）を活用しつつ講義を実施。

（3）教員向け支援

- 「金銭教育に関する教員セミナー」を当委員会が主催
 - 小学校教員（21名）を対象に「教員セミナー」を開催（後援：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、中央委員会）。中央委員会発行の冊子「金融教育プログラム」や「金融教育ガイドブック」の作成・執筆にもご協力いただいた小関禮子氏を講師に迎え、講演およびワークショップを実施。

2. 社会人向けの金融教育

（1）金融経済講演会の開催

- 当委員会単独開催（1回、参加者167名）

- 講師：ダニエル・カール氏
テーマ：「くらしとおかねのお役立ちヒント
～日米の生活体験を通じて～」

- 各種団体との共同開催（4回、参加者計452名）
 - 兵庫県・神戸市、尼崎市、姫路市、日本FP協会兵庫支部と共催。
- 兵庫県との「生活設計啓発講習会」の共同開催（7回、参加者計355名）

（2）金融広報アドバイザーの講師派遣

- 幅広い世代を対象とした講習会に派遣（社会人向け派遣件数23回）
 - 県内各地の公民館、消費者センター等からの依頼に基づき派遣。

（3）各層の関心・ニーズに適合した情報発信

- 講演会・講習会等における中央委員会発行冊子の配付・活用
 - 「これであなたもひとり立ち」、「大学生のための人生とお金の知恵」、「大人のためのお金と生活の知恵」、「家計夢ノート」、「知るぼるとホームページ紹介パンフレット」等を配付・活用。

3. 金融広報活動の効果的かつ効率的な運用

（1）金融広報アドバイザー活動支援

- 「金融広報アドバイザー等協議会」（於：日本銀行神戸支店）の開催
 - 中央委員会から講師を招き、当委員会の金融広報アドバイザー8名を対象として、「金融広報アドバイザーに高まる期待～昨今の環境変化を踏まえて～」をテーマに講義を行ったほか、兵庫県、神戸市より消費生活相談状況等に関する情報提供を受けた。
- 「金融広報アドバイザー研修会」（10/9～10日、主催：中央委員会）への参加（1名）

（2）効果的な広報活動の検討および関係諸団体（地方公共団体、教育委員会、委員団体等）との連携

- 講師派遣制度の普及
 - 県内地方公共団体や教育委員会等に対して、中央委員会季刊誌「くらし

し塾きんゆう塾」送付等の機会を捉え、当委員会の講師派遣制度を紹介。

○ 大規模講演会の告知・募集

— 大規模講演会の開催にあたっては、新聞等に広告を掲載したほか、報道機関を含む委員団体等の協力を得るなど、多様なチャンネルで情宣を行った。

○ 教育委員会との連携

— 兵庫県教育委員会および神戸市教育委員会等の後援を得て、教員セミナーおよび公開授業を開催。

— 翌年度からの金銭教育研究校の開拓にあたり、神戸市教育委員会の推薦・協力を得て、神戸市立藤原台小学校に委嘱。

○ 中央委員会との連携

— 中央委員会が実施する「おかねの作文」コンクールおよび「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール、金融教育に関する小論文・実践報告コンクールについて広く募集。県内からは「おかねの作文」コンクールで中学生 2 名、「金融と経済を考える」高校生小論文コンクールで高校生 7 名が入賞したほか、金融教育に関する小論文・実践報告コンクールで 1 編 2 名が受賞。

— 中央委員会が開催する事務局員会議（6/18～19 日）および事務局長・責任者会議（1/28 日）に出席（計 4 名）。